



愛育園の職員が自立した人財になってほしいと願って、今年には外部講師による研修を導入しました。

た。子育てにマニュアルは通用しません。

だから、言われてやるのではなくて、書いてあるからやるのではなくて、きめられて

いるからやるのではなくて、言われなくても自発的にやる人になって欲しいと、願いました。

愛育園の職員は、交代勤務です。家庭の子育てとは全く違います。仕事で養育している。だから、週の養育時間は決まっています。四〇時間です。

## 人間力

職員が自立した人財になるにはどうしたら良いでしょうか。それには人間力をつけること、と講師の先生は言いました。人間力をつければ、自立した人財になれる。

一週間は何時時間でしょうか。七日×二十四時間＝一六八時間です。一六八時間のうち四〇時間しか、子どもを育てられないのです。宿直時間を考慮して、平均すると約三人の職員が交代で勤務して育てるのです。ここが家庭の子育てとは決定的に違います。だから、職員がミツシヨン（愛育園の養育の目的）を共有して、報連相と引き継ぎをしつかりして、心をひとつにして、子どもを育てないと大変なことになると思います。

職員が自立した人財になるにはどうしたら良いでしょうか。それには人間力を

つけること、と講師の先生は言いました。

人間力をつければ、自立した人財になれる。

なるほどねー。人間力をつければ、それが心の自信となって自立した人財になる。

一週間は何時時間でしょうか。七日×二十四時間＝一六八時間です。一六八時間のうち四〇時間しか、子どもを育てられないのです。宿直時間を考慮して、平均すると約三人の職員が交代で勤務して育てるのです。ここが家庭の子育てとは決定的に違います。だから、職員がミツシヨン（愛育園の養育の目的）を共有して、報連相と引き継ぎをしつかりして、心をひとつにして、子どもを育てないと大変なことになると思います。

職員が自立した人財になるにはどうしたら良いでしょうか。それには人間力を

つけること、と講師の先生は言いました。人間力をつければ、自立した人財になれる。

## ニコニコ法話

るのかと思いました。ところで人間力とは何でしょう。

私は、何かその人からにじみ出るオーラのようなものかなあと考えました。あるいは、仕事の能力とか…。

講師の答えは違っていました。人間力とは

一、人としてあたりまえのことができること

二、自分がしてもらったら嬉しいことを、人にしてあげられること

でした。

良く考えるとその通りと思いました。

例えばあいさつ。あいさつができる人はできない人より人間力が高い。そのあいさつも先手に笑顔でできる。笑顔とアイコンタクトでできる。例えばはきものはきものをいつもそろえておける。例え

ば整理整頓。後片付けができる。例えば

ドア。開けたら閉める。例えば起床。朝

早く決められた時刻に自分で起きられ

る。そのほかにもたくさんあるでしょう。

そのように、人として当たり前のことを

あたりまえに継続してできる。すると人間力が高まる。なるほどと思いました。

自分がしてもらったら嬉しいことを、

人にしてあげられる人。それはすごいと思

いました。なかなかできることではありません。

確かに人間力が問われます。

人として当たり前のことを継続して、

質を上げてできることが、人間力を高め、

自立した人財につながることを教えても

りました。

さあみなさん。早速始めようではありませんか。

自立型人間になるために。